

草創期の北陸学院短期大学

－ 創設当時の教育が育んだもの －

多保田 治 江

I. はじめに

北陸学院短期大学は、今から51年前（1950年）に「北陸学院保育短期大学」として25名の定員で開学した。昨年（2000年10月12日～10月17日）行われた開学50周年を祝う記念行事は、来賓、同窓生、学生、教職員、旧教職員が多数出席する盛大なセレモニーとなった。私は保育学科の50周年準備委員の任にあつたので「保育学科の50年のあゆみ」を調べるために、これまでに書かれた保育学科の歴史の調査や、学内にある資料に加えて同窓生の方々からも貴重な写真をお借りして学外、学内で「資料展示」を開催した。その時に感じたことは、限られたスペースの中で「資料展示」をすることとなると大学の歴史的流れを追うことの側面のみになってしまうということだった。もう一方の大学が創設された背景やその当時在籍した学生が大学に対してどのようなイメージを持ち、授業や学生生活を過ごしたのか、2年間の学びがその後の生活にどのような影響を及ぼしたのかという学び手の側面を調査し、考察することがこの50周年という節目の機会に必要であると考えた。

II. 北陸学院保育短期大学創設された背景

戦前は教育制度において女性が高等教育を受ける道は非常に狭かった。戦前高等教育が受けられたのは、師範学校の女子部、女子高等師範学校、女子専門学校のみであった。戦後民主化の一端として男性と女性の性別の枠を除外し、ようやく女性が高等教育を受けられる時機到来となったが、石川県で女性が入学出来たのは石川師範の女子部のみであった。

北陸学院保育短期大学開学の3年前である1947年3月に学制改革による「教育基本法」・「学校教育法」が公布され、新制大学は各県ごとに設置することになった。石川県では1949年に金沢大学が開学した。金沢大学は、第四高等学校・金沢高等師範学校を母体とする法文学部（法律・経済・文学科）と理学部（数学・物理・化学・生物・地学科）、金沢高等師範学校・石川師範学校・石川青年師範学校を母体とする教育学部（教育・教職学科）金沢医科大学と同附属医学専門部を母体とする医学部（医学科）、金沢医科大学附属薬学専門部を母体とする薬学部（薬学科）、金沢工業専門学校を母体とする工学部（土木工学・機械工学・工業化学・電気工学・化学機械学科）の6学部構成であった。第1回入学式では816名の入学生があつた。

1949年に短期大学制度が発足し、石川県では1950年に1校の公立短期大学と2校の私立女子短期大学が誕生した。1946年に創設した金沢美術工芸専門学校が3年制の金沢美術工芸短期大学となった。美術科（日本画・油画・彫塑）と工芸科（陶磁・漆工・金工）の2科構成で1学年定員120名

多保田 治 江

であった。しかし工芸科に志願者が集まらず第1回入学式では63名の入学生であった。

2校の私立女子短期大学は金沢女子短期大学と北陸学院保育短期大学である。1946年に設立された金沢女子専門学園が短期大学となり、金沢女子短期大学となった。文化・家政科の2科があり、第1回入学式では82名の入学生があった。

もう一方の北陸学院保育短期大学は、母体の北陸学院がキリスト教主義によって人格教育を行なう総合学園でアメリカ北長老教会派遣の婦人宣教師ミス・ヘッセル (Mary Katherina Hesser) が1885年に創立した金沢女学校が前身である。明治・大正・昭和とアメリカやカナダからの外人宣教師によって一貫して女子教育(但し、幼稚園のみ共学)が行なわれてきた。また北陸学院は、ミス・ポーター (Francina. Porter) によって1886年創められた現存するキリスト教主義幼稚園としてはわが国最古の幼稚園を附属していたが、幼児教育専門家であるとともに、クリスチャンであるという教師を得ることに永年苦勞してきた。当時の北陸学院幼稚園園長ミス・ライザー (Irene eiser) が1948年3月の北陸女学校理事会に幼稚園教師養成機関の設置を初めて提案し、1949年8月の理事会において北陸学院保育短期大学設置委員会が組織された。1949年10月15日に文部省(現 文部科学省)に提出した設置理由書には次のように書かれている。

北陸学院保育短期大学設置理由書

「金沢市は北陸地方の中心にて教育の点においても同様にあります。昨今、幼児教育も地方民の要望に応え、幼稚園の設立も増加する次第であります。しかるに当地方に有力なる幼稚園教師養成機関がなく遠方より教師を求めて参りました。殊に北陸地方にはキリスト教主義の幼稚園が二十数園ありまして今後増加する傾向にありますが、その教師補充のためにも是非とも短期大学保育科を要望され、キリスト教保育連盟も日本最初のキリスト教幼稚園を持つ当学院に期待しておられるのであります。この度、理事会の決議を経まして申請する次第であります。」(註1)

1950年3月14日に設置認可があり、5月1日開学式、5月8日第一回入学式が挙行された。第一回入学式では、第一次入学合格者8名、第二次募集の合格者と合わせて22名の入学生があった。名称は保育科のみであるから「保育短期大学と名づけた方がよい」と文部省からの薦めがあった。教室は附属幼稚園の二階、保育科のみの単科の日本一小規模な短期大学がこうしてスタートしたのである。

1950年に富山県内に存在した高等教育機関は、富山大学と富山商船高校の2校で、富山大学教育学部に幼稚園教員養成課程が設置されたのは22年後の1972年であった。

また、福井県内に存在した高等教育機関は、福井大学のみであった。福井県では法律によって保母(現 保育士)の必要性が定められたことを受けて保育者を養成しようと試みたが、困難な情況で既に無資格で保育に従事していた人を対象に1948年3月から1950年10月にかけて何度か講習・試験を行い保母資格(現 保育士資格)を与えていた。

北陸学院保育短期大学は、文字通り北陸地方では最初で唯一の保育者養成機関であった。

Ⅲ. 北陸学院保育短期大学 1 回生から 3 回生の学生動向

アンケート調査

今回の小論では草創期ということで1回生から3回生に焦点を絞り、「大学に対してどのようなイメージを持っていたか」、「授業や学生生活をどのように過ごしたか」、「2年間の学びがその後の生活にどのような影響を及ぼしたか」という学び手の側面についてアンケート調査を実施した。2001年8月末現在の1回生から3回生の消息と全国分布状況は次の通りである。

	卒業者数	死亡者数	不明者数	計
1回生	16名	3名	1名	12名
2回生	23名	1名	1名	21名
3回生	26名	4名	1名	21名
計	65名	8名	3名	54名

	石川 県	富山 県	埼玉 県	大阪 府	愛知 県	長野 県	千葉 県	山口 県	北海 道	静岡 県	群馬 県	東京 都	神奈 川 県	宮崎 県	三重 県	奈良 県	兵庫 県	高知 県
1回生	2	2	1	1	1	1	1	1	1									
2回生	9	2	1	1	2		1	1			1	1	1	1				
3回生	9	3			1							3		1	1	1	1	1
計	20	7	2	2	4	1	2	2	1	1	1	4	1	2	1	1	1	1

- ・アンケート調査配布 54名 2001年9月10日
- ・回答数 25 [7・10・8] 回答率 46% [58%・48%・38%]

結果と考察

数字で表されるデーターに関しては最近の卒業生である48回生から50回生と比較することとした。

○入学者

入学者に関しては「設置認可がおりてから開学まで期間がなかったこと」や「子守りが保育者の仕事とされていたこと」もあって、2回生までは定員の25名には満たなかった。48回生から50回生の定員は100名であるので4倍となり、実際の入学者は当時の約5倍となった。しかし、学生の大多数が石川県出身であることは草創期と同じ傾向であった。

	入学者	出身地
1回生	22名	石川県15名, 富山県3名, 大阪府1名, 満州2名, 台湾1名
2回生	24名	石川県20名, 富山県2名, 東京都1名, 岡山1名
3回生	30名	石川県27名, 富山県2名, 三重県1名

(註2)

多保田 治 江

	入学者	出身地
48回生	123名	石川県 97名, 富山県18名, 福井県 5名, 新潟県 3名
49回生	132名	石川県122名, 富山県 7名, 新潟県 2名, 宮崎県 1名
50回生	123名	石川県104名, 富山県13名, 福井県 1名, 埼玉県 1名, 愛知県 1名, 滋賀県 1名, 鳥取県 1名, 高知県 1名

○就職状況

第1回卒業証書授与式では、1951年に北陸学院保育養成所を併設したことに伴い、北陸学院保育短期大学並びに保育養成所卒業証書、幼稚園教諭2級普通免許状と保育資格証明書が授与された。その後2回生から5回生までは3つ目の資格である小学校教諭2級普通免許状も授与された。草創期は主に幼稚園に就職する傾向にあったが、ここ最近は大多数が保育園に就職する傾向にあるという著しい違いが現れた。



(第1回卒業証書授与式)

・就職先

	卒業者数	幼稚園	保育園	養護施設	小学校	家事従事	進学者数
1回生	16名 (-6)	15名	1名				
2回生	23名 (-1)	17名	1名	1名	1名	1名	2名
3回生	26名 (-4)	21名	1名	1名	3名		
計	65名 (-11)	53名	3名	2名	4名	1名	2名

(註3)

・全国分布状況

	石川県	富山県	福井県	京浜	京阪神	愛知県	長野県	滋賀県	広島県	計
1回生	9名	3名	1名	3名						16名
2回生	14名			4名	1名	1名				20名
3回生	14名	2名	1名	3名	1名	1名	2名	1名	1名	26名
計	37名	5名	2名	10名	2名	2名	2名	1名	1名	62名

・就職先

	卒業者数	幼稚園	保育園	施設	企業	その他	進学者数
48回生	123名 (0)	15名	87名	4名	5名	10名	2名
49回生	125名 (-7)	32名	74名	10名	4名	2名	3名
50回生	120名 (-3)	22名	84名	4名	3名	4名	3名
計	368名 (-10)	69名	245名	18名	12名	16名	8名

草創期の北陸学院短期大学

・全国分布状況

	石川県	富山県	福井県	新潟県	千葉県	滋賀県	計
48回生	96名	10名	4名	1名			111名
49回生	109名	8名	1名	1名	1名		120名
50回生	103名	8名	1名			1名	113名
計	308名	26名	6名	2名	1名	1名	344名

本学の傾向として地元石川県内出身者が学生の大多数を占めるにもかかわらず、草創期においては、全国各地で就職している。一方、最近は出身地ないし金沢市内に就職する傾向にある。

さて、北陸学院保育短期大学の設立に携わった南 信先生によると、ミス・ライザー、ミセス・ウィン、南先生、安藤先生が学生募集のために高校訪問を行ったり、南先生は、ポスターを50枚手書きし電柱に貼ったそうである。草創期の学生はどのようにして北陸学院保育短期大学のことを知ったのだろうか、北陸学院のイメージについて質問した。

質問1. 北陸学院保育短期大学のことをどのようにして知りましたか

	1回生	2回生	3回生
1 家族から	2	5	2
2 高校の先生から		4	2
3 友人から		3	1
4 牧師先生から	1		2
5 附属幼稚園で直接知る	2		
6 ライザー先生から	1		
知り合いから	1		
わからない. 覚えていない	1		1

家族から北陸学院保育短期大学進学を薦められたケースが多かった。また、入学前に保育の仕事に携わっていた方からは附属幼稚園に訪問した時に知った。或いは附属幼稚園で勤務していたというケースもあった。キリスト教主義の学校のため牧師先生から薦められたという点は特出すべきことだろう。

質問2. 入学前の「北陸学院」のイメージはどのように思いましたか

	1回生	2回生	3回生
1 ミッションスクールである	4	7	4
2 良い学校である. 品位高い女子学校である	1	2	
3 制服がとてもモダンでハイカラである		2	
歴史と伝統がある学校である		1	1
5 明るい学校である		1	
戦前・戦中・戦後と国策でイメージが変わる	1		
清く、充実した女性の教育者が多い学校である			1
国立大学より入学し易い学校である			1
お金持ちの女子が行く学校である			1
引揚者で知らなかった	1		
疎開者で知らなかった	1		
北陸学院出身なので別がない		1	1

北陸学院がキリスト教主義の学校であることは学生には周知されていることが伺われる。「引揚者や疎開者で知らなかった」という回答は、設立年を感じさせる。

質問3. 保育短期大学入学前は何をしていらっしゃいましたか

	1回生	2回生	3回生
<u>学 生17 (68%)</u>			
高校生	2	7	7
洋裁学校生	1		
<u>社会人8 (32%)</u>			
幼稚園勤務	2	3	
保育園勤務	2		
家事手伝い			1

社会人からの入学者、特に保育経験のある入学者が今回の回答者の32%と多かった。

質問4. 保育者になろうとした志望動機をお書き下さい。

	1回生	2回生	3回生
1 子どもが大好きであったこと	2	3	1
2 保育者として入学前に働いたこと(より学びたい)	4	2	
3 幼稚園の先生にあこがれたこと		1	3

草創期の北陸学院短期大学

思いもよらぬこと、なんとなく	1	3	
5 教養を身につけ、専門の勉強をしたかったこと			3
6 資格を持ちたかったこと		2	
(当時職業婦人はマイナスイメージであったが、幼稚園の先生ならばイメージが良い)			
7 附属高校にいて保育科が身近だったこと		1	
ピアノが弾けたこと			1

現役で入学した学生は「子どもが大好きであること」が志望動機の1位、また幼稚園や保育園で勤務の経験のある学生は「より学びたい」という志望動機で入学している。草創期は学生の年齢もばらつきがあり、それぞれが様々な思いで入学している。

質問5. 保育短期大学の授業や学生生活の中で印象深かったことをお書き下さい。

1回生 2回生 3回生

先生や授業について

南 先生と出会い、交わりを持てた 2 7 5

- ・日曜日の朝、聖書の学びをして下さった
- ・情熱溢れる講義が印象的だった
- ・友情・信仰生活など多くを教えて下さった先生
- ・はつらつとして、楽しい先生
- ・目の動き、笑い方、指の動きが印象的な先生

ライザー 先生と出会い、交わりを持てた 3 3 3

- ・宣教師館で朝食会やティーパーティがあった。また、品物をもらった
- ・優しく、おおらかで暖かく楽しい先生
- ・ブルー系統の服を素敵に着ていらした
- ・静かに廊下を歩かれた
- ・フォークダンスを軽やかなステップで踊られた

ウィン先生と出会い、交わりを持てた 2 3 2

- ・宣教師館で朝食会やティーパーティがあった。また、品物をもらった
- ・きびきびして、ユーモアに富み、笑わせることが上手い、少々怖い先生
- ・ピアノの演奏が素晴らしかった
- ・情熱溢れる英語の讃美歌指導が印象的だった
- ・礼拝が印象的だった

番匠先生と出会い、交わりを持てた 1 1

- ・暖かく、優しい先生
- ・信仰に満ち、いつも正しい方向に導いて下さる先生

安藤先生と出会い、交わりを持てた	1	1
・讃美歌を歌う礼拝が印象的だった		
・ピアノの授業が印象的だった		
毎朝礼拝で始まる学びが良かった	1	1
保育の専門科目が学べたことが印象的だった	2	
沢田先生の「児童心理学」の講義が印象的だった	1	
正宗先生の「英語」の講義（若草物語が楽しみ）が印象的だった	1	
上河原牧師が印象的だった	1	
菊田先生（修養会講師）が印象的だった	1	
アメリカ人の先生は日本人と考え方が違うことが印象的だった		1
キリスト教という異質の世界を知ったことが印象的だった	1	
礼拝で歌った讃美歌が印象的だった	1	

行事について

クリスマスが印象的だった	1	3
・アメリカ人の先生と初めてイエス様の誕生をお祝いした		
・ページェントでマリアを演じた		
修養会が印象的だった		3
卒業式が印象的だった	1	
遠足が印象的だった		1

校舎や学生について

学生が少人数なので、家庭的で団結心があった	1	2
2年間の学生生活全てが印象的だった	2	
教員も学生もパワフルで、助け合いの気持ちに満ちていた	1	
本多町のレンゲツツジの咲くアプローチから入口までの道が印象的だった	1	
クラスソングを作ったことが印象的だった		1
3回生全員が洗礼を受けたことが印象的だった		1

草創期は学生が少人数であったことが幸いして授業や生活面においても、教員と学生のコミュニケーションがとられていることが伺える。また、当時では珍しかったアメリカ出身の先生方との交わりに対して興味と戸惑いもみられた。

草創期の北陸学院短期大学

質問6. 北陸学院保育短期大学で培われたことは何でしょうか。

	1回生	2回生	3回生
1 信仰. 神への讃美. 聖書を開くこと	4	2	6
2 保育者の姿. 使命	3	2	2
3 友情	2	3	1
4 人間の基礎は幼児期に作られるということ. 幼児教育の大切さ (小学校教諭の免許も取得できたが、邪道に思われた)		1	3
人を愛すること. 思いやること		2	2
6 真剣に学ぶ姿勢	2	1	
7 「教育の根本は神」を知ること		2	
8 生き方(創造的に生きること)		1	
助け合いの精神	1		
地の塩となること		1	
若き時に信仰を持つことの大切さ		1	
生涯学習の大切さ		1	
感謝すること		1	
いろいろな考え方があること		1	
他者の言葉も受け入れるようになったこと		1	
師に対する尊敬の気持ち		1	
一人一人を大切にすること		1	
努力			1

毎日行なわれる礼拝で培われた信仰心、授業を通して培われた保育者の姿や使命並びに幼児教育の大切さ、2年間の学生生活で培われた友情などに多くの回答があった。

質問7. 保育短期大学を卒業して保育現場で役に立ったことをお書き下さい。

	1回生	2回生	3回生
1 信仰心を育てられたこと (辛いことも祈りで救われる. 優しく接すること. 感謝すること)	1	2	2
2 子どもに対してきちんと向き合うことが大切であること (子どもとの接し方)		3	1
相談に行ける母校を持ったこと	2	1	1
4 実習で数多くの保育者の働きに触れたこと	1		2
仕事に対する「やる気」「喜び」が育てられたこと	1	2	
学んだこと全て		2	1

多保田 治 江

7 保育者として基礎的な勉強をしたこと	2	
8 子どもにお話しをすること	1	
行事を企画し進行すること	1	
人の出会いが大切であるということ		1
小さな生命でも人格を有した人間であること		1
子どもを育てる指針となったこと		1
自由保育にもスムーズに入れる保育方針		1
同僚と協調して仕事をする事		1
子どもの立場になって保育を考えること		1
音楽		1

「信仰心を育てられたこと」が1番多かった。精神的コントロールと対人関係に役立つように思われる。また、「相談に行ける母校を持ったこと」が回答されているが、保育の現場で起こる様々な問題・課題、情報収集に現職の我々も役立つように心がけたい。

質問8. 現在までの就職先と勤続年数、就職地をお書き下さい。

1回生

- ・ 33年間 (幼稚園1年/保育園32年) 1952~1987 富山県
 幼稚園(キ)1年、保育園(キ)23年、公立保育園 2年、保育園 7年
- ・ 2年間 (幼稚園2年) 1952~1954 神奈川県
 幼稚園 2年
- ・ 20年間 (幼稚園4年/短期大学16年) 1952~1973 石川県
 幼稚園(キ)4年、短期大学16年
- ・ 3年間 (幼稚園3年) 1952~1953/1955~1957 石川県
 幼稚園(キ)3年
- ・ 10年間 (幼稚園10年) 1952~1963 石川県
 幼稚園(キ)10年
- ・ 42年間 (幼稚園14年/乳児保育施設9年/短期大学19年) 1952~1994 長野県・富山県・東京都・石川県
 幼稚園(キ)14年、乳児保育施設9年、短期大学19年

2回生

- ・ 2年間 (幼稚園2年) 1953~1955 石川県
 幼稚園(キ)2年

草創期の北陸学院短期大学

- ・ 31年間（小学校31年）1953～1984 東京都
小学校 31年
- ・ 24年間（保育園15年／幼稚園9年）1953～1960／1963～1972／1973～1980 東京都・埼玉県・広島県・石川県
幼稚園(キ)9年、保育園(キ)15年
- ・ 19年間（幼稚園19年）1953～1972 石川県
幼稚園(キ)19年
- ・ 41年間（幼稚園41年）1953～1994 石川県
幼稚園(キ)41年
- ・ 2.5年間（幼稚園2.5年）1953～1955 石川県
幼稚園(キ)2.5年間
- ・ 11.7年間（幼稚園11.7年）1953～1964 石川県
幼稚園(キ)6年間、幼稚園5.7年間
- ・ 40年間（幼稚園40年）1953～1993 石川県・京都府・大阪府
幼稚園(キ)20年間、幼稚園20年間
- ・ 40年間（幼稚園40年）1953～1993 石川県・台湾
幼稚園(キ)40年間
- ・ 19.9年間（幼稚園19.9年間）1953～1972 京都府・新潟県・三重県
幼稚園(キ)19.9年

3回生

- ・ 8年間（幼稚園5年／小学校3年間）1954～1962 福井県・石川県
幼稚園(キ)5年、小学校 3年
- ・ 1年間（幼稚園1年）1954～1955 石川県
幼稚園(キ)1年
- ・ 7年間（幼稚園3年／保育園2年／精神薄弱児施設2年）1954～1961 石川県・大阪府
幼稚園(キ)3年間、保育園2年間、精神薄弱児施設2年間
- ・ 40年間（小学校40年） 石川県
小学校 40年間
- ・ 8年間（幼稚園8年） 石川県
幼稚園(キ)8年間
- ・ 3年間（幼稚園3年） 東京都
幼稚園 3年間
- ・ 5年間（幼稚園5年） 岐阜県・長野県
幼稚園(キ)5年間

多保田 治 江

・44年間（幼稚園／保育園）1954～1998

石川県・東京都

幼稚園(キ)保育園

初任でキリスト教主義幼稚園に勤務した学生が多かった。保育現場からも待望されていたように察することができる。回答者25名中、20年以上勤務10名（40パーセント）、30年以上勤務8名（32パーセント）、40年以上勤務6名（24パーセント）と使命を持って子どもと関わる仕事に従事していたことが伺われる。

保育を学ぶ現在の学生に対する要望をお書き下さい。

- ・豊かな人間性を持って欲しい。（常識持つ、思いやりがあるなど） 7
- ・保育者は大変素晴らしい、実りのある仕事である。子どもに学び、共に成長して欲しい。 3
- ・学生時代によく学んで欲しい。（資格を持つことは強みである）（女性にとって大切な学問） 3
- ・建学の精神を知り、伝統と歴史のある学校であることを理解し、誇りを持って欲しい。 2
- ・信仰を持つことが人生にとってどんなに大切かを知って欲しい。 2
- ・幼児期に人間に必要な基礎を養える保育者になって欲しい。 2
- ・権利ばかりを主張し、精神的にも物質的にも耐えることを忘れがちな現代社会にあって、常に自分に厳しく他者に優しさを忘れない保育者になって欲しい。
- ・保育の基礎理論をしっかり学んで欲しい。
- ・考える力を養って欲しい。
- ・人との出会いを大切にしたい。
- ・自分の哲学を持って生活して欲しい。
- ・キリスト教保育の大切さを知って欲しい。
- ・子どもに信頼される保育者になって欲しい。
- ・向上心を持って欲しい。
- ・正しい判断力で情報の中から真なるものを見つめる努力をして欲しい。
- ・保育に対して熱意を持って欲しい
- ・人の子を預かって保育をするのだから、自分に対して常に厳しさを覚えて欲しい。
- ・一人一人の子どもを見つめる視点に濁りがないようになって欲しい。
- ・幼児教育が人間の一生の中で如何に大切かを訴えることができる保育者になって欲しい。

要望は、「北陸学院短期大学についてより深く知ることへの要望」、「学ぶ姿勢への要望」、「保育に対する姿勢への要望」の大きく3つのカテゴリーに分けることができる。いずれも貴重な要望だと思えるので、今後綿密に検討したい。

IV. おわりに

北陸学院保育短期大学は1963年に、保育科・栄養科の2科制の北陸学院短期大学となった。その後北陸学院短期大学に1964年英語科、1968年教養科、1999年人間福祉学科を増設した。2000年には学科名を変更し、37年間呼び慣れた保育科から保育学科となった。北陸学院短期大学保育学科は、その間に約4000人の卒業生を幼稚園・保育所・社会福祉施設に送り出している。

北陸学院保育短期大学が創設された当時、北陸地方において最初で唯一の正に待望の保育者養成機関であった。今回の調査によって、草創期に学んだ1回生から3回生の北陸学院のイメージは「ミッションスクールである」ということだった。授業や学生生活については保育科のみの単科の日本一小規模な短期大学であればこそその利点で「教員との交わりがあったこと」や「学生間の団結心があったこと」が挙げられた。また、2年間の学びによって培われたことについては「信仰心が育てられたこと」や「保育者の姿や使命並びに幼児教育の大切さが培われたこと」という回答が多かった。保育に対する使命を持って社会に巣立ったことが伺えた。今後も継続的にこの調査を行なう予定である。

この小論を執筆するにあたり、元保育科長の南 信先生の多大なるご協力があった。1回生の吉田真知子氏、2回生の佐々波秋子氏、3回生の水谷庸子氏にも直接お話をさせていただいた。また、約50年前のことを思い起こし回答して下さった同窓生の方々に感謝申し上げる。その中には、しばらくぶりにお便りを下さった方もいると同窓会の方からお聞きしたことも付け加えておく。

引用文献・参考文献

註1 南 信子編集「保育短期大学十年史」P. 33

註2 南 信子編集「保育短期大学十年史」P. 239

註3 南 信子編集「保育短期大学十年史」P. 239

1 石川県教育史編さん委員会	「石川県教育史 第3巻」	1977年
2 南 信子編集	「保育短期大学十年史」	1961年
3 学校法人 北陸学院	「北陸学院百年史」	1990年
4 富山大学年史編纂委員会	「21世紀を翔る目で見る富山大学の50年」	1999年
5 富山新聞社	「富山県大百科事典」	1976年
6 福井県教育史研究室編	「福井県教育百年史1～4」	1975年～1979年